

立川市長選挙への対応について

平素より、私ども民主党および立川市議会市民フォーラムの活動に温かいご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。また、7月の参議院選挙におきましては、皆さまの絶大なるお力添えによりまして与野党逆転を実現することができました。これもひとえに、政権交代を待望する市民の皆さまの強い意志の表れと心より敬意を表する次第です。頂戴した「期待票」を、政権を託す信頼の一票一票に変えて行くため、国会において政権担当能力を天下に示す真摯な活動を積み重ねてまいる所存です。

かかる情勢の中で、私たちは、参院選後初めて行われる自治体の首長選挙となる立川市長選挙におきましても、参院選勝利の余勢を駆って民主党の独自候補を擁立できないか、真剣に模索してまいりました。この間、国政選挙の結果と自治体選挙の帰趨が必ずしも一致するものではないこと、国政の党派対決を地方自治の現場に持ち込むべきでないこと、私たち民主党および市議会会派の中に市長選挙に向けての強い意志や積極的な構想が醸成されていなかったこと等々、議論百出の末、まことに残念なことではありますが、独自候補擁立を断念せざるを得ないことと決しました。この際、民主党としては、自主投票ということで、いずれの候補者に対しても推薦・支持など、有権者の皆さまに予断を与えてしまうような明確な意思表示をも差し控えることといたしました。今回の市長選挙に当たっては、皆さまそれぞれの確かな眼で、多摩の中核都市である立川市長に相応しい方を選択していただきますようお願い申し上げます。

政権をめざす野党第一党として、新しい市政を希求する市民・生活者の皆さまの意思を反映する受け皿を提供できなかったことは、残念無念の極みであり、同時に、熱烈なる期待を寄せていただいた多くの皆さまを裏切る結果になってしまったこと、心よりお詫び申し上げます。しかし、私たちといたしましては、今回の悔しい現実を直視し、4年後、8年後に向け、民主党および市議会会派を挙げて政策の練磨と組織力の拡大、そして何よりも、市民の皆さまのニーズを吸い上げ、新しい立川市政を構想してまいる努力を徹底的に行い、「他日を期す」所存です。

党员・サポーターの皆さまはじめ後援者の皆さまには、私たちの意のあるところをお汲み取りいただき、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

平成 19 年 8 月 15 日

民主党東京都第 2 1 区総支部長	長島 昭久
民主党立川市支部長	酒井 大史
立川市議会市民フォーラム代表	太田 光久